



The University of Tokyo  
Integrated Human Sciences Program  
for Cultural Diversity

Lecture by

**Darin Tenev** (Sofia University, Bulgaria)

# How to Build Models in Literary Theory ?

**ダリン・テネフ** (ブルガリア、ソフィア大学准教授)

文学理論において、いかにしてモデルを構築するべきか

構造主義によって導入され、使用されてきた「モデル」の概念をいま、いかに活用すべきだろうか。レヴィ＝ストロースの『構造人類学』（第15章「民族学における構造の観念」）、アラン・バディウの『モデルの概念』、ジャック・デリダの「ジャンルの掟」（『境域』所収）を参照しつつ、文学論におけるモデルをいかにつくるべきかを考察する。

ダリン・テネフ (Darin Tenev) ブルガリア、ソフィア大学准教授

著書 (ブルガリア語) に『フィクションとイメージ、モデル』 (2012年)、『脱線——ジャック・デリダに関する試論』 (2013年)。日本語での論文に、「喪われる領土——日本アヴァンギャルド雑誌『亞』の場合」『日本文学からの批評理論——亡霊・想起・記憶』、高木信・木村朗子・安藤徹編、笠間書店、2014年。「物語の支え——文学理論の視点から見た日本語教育」『日本語教育連絡会議論文集』 Vol. 24, 2012年。「記憶の措定をめぐる」『物語研究』第六号 (特集: 記憶)、2006年。

Date: 16:30-18:30, Tuesday, December 2, 2014

Venue: Collaboration Room 4, Bld. 18, The University of Tokyo, Komaba

Language: English | Admission free | No registration required

Organized by "Japan" Unit, Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity, The University of Tokyo

Co-organized by The University of Tokyo Center for Philosophy (UTCP)